

## 活躍する女性農業者の世代別特徴に関する考察

唐 冠琰（資源環境経済学講座・農業経営経済学分野）

### 【目的】

男女共同参画社会の推進を基本的背景として、六次産業化への取り組みや直売活動、都市農村交流における女性の役割が重要視されるようになり、農村社会と農業経営における女性農業者の活躍事例が数多く取り上げられている。本研究では、これからの女性農業者のあり方に対する議論を行うにあたり、先行研究のレビューとともに、社会背景の変遷に応じた世代ごとの女性農業者の特徴を抽出することを目的とする。

### 【方法】

本研究では、広く農業にたずさわる女性全体を女性農業者と定義する。女性農業者の社会環境や家族構成が類似する東北（宮城県・岩手県）を対象に、世代別の女性農業者を選定し、女性農業者を取り巻く社会的背景の整理と半構造化インタビューを通じた個人的成果と心境変転に関する情報を収集し、世代ごとの女性農業者のライフヒストリーの構築を試みるとともに、各個人のライフヒストリーを比較することで世代別同異点に関する考察を行う。

### 【分析結果】

女性農業者を高年層（60代以上）、壮年層（40代-50代）、若年層（30代以下）に分類し、各世代の対象者が育ってきた社会的背景とライフヒストリーを整理した。ライフヒストリーの比較分析を通じて、以下の女性農業者の世代別同異点が明らかになった。

まず、世代別女性農業者の共通点として、①出身・環境による影響、②ライフイベントによる活動・生活仕様の变化、③モデル像への憧れ、④生活経験と農業生産経営経験の同時獲得、⑤外部環境による一押し効果、⑥周囲とのつながりによる安心感の六つの特徴が抽出された。

また、世代別の相違点に関しては、④農業に対する考え方、⑧関係機関に対する考え方、⑨情報発信に対する考え方、⑩集団に対する考え方の4つの側面から検討した。

それによると、④高年層から若年層にかけて農業に対する考え方が農地への執着から自己実現を求める傾向へと変わり、⑧関係機関に対する考え方は周囲への配慮を優先することから活動の多様化によって積極的に協力を求めることへと変わり、⑨情報発信に対する考え方は成功例としてモデル像提供の責任感からソーシャルメディアを媒介に自らの生活を含めた情報の共有へと変わり、⑩集団に対する考え方は周りの反対意見の抵抗から知識伝承とともに個人行動の優先へと意識の変転が確認された。

### 【結論】

以上から、今日活躍する女性農業者には世代別特徴に差異の存在が確認できた。また、その差異は彼女らを取り巻く社会および家族の環境の変化によってもたらされていると推察できる。

今後の課題としては、調査対象の追加とともに、世代別女性農業者に与える役割、女性農業者のモデル像造成、生活性と経済性を融合した世代間のネットワーク形成に関する考察を挙げる。